



北條 利雄 議員

## 主要施策

問

### 次年度の施政と 予算編成方針を伺う

答

### 時代の要求に対応する 予算編成と事業に取り組む

質問

地域の活性化と人口減少抑制をめざす地方創生の取り組みや、歳出削減路線を堅持し施策の重視などが求められる。次年度の予算編成の基本方針、主要施策、歳入見込みと今後の財政見通しを伺う。

答弁(村長)

基本は、振興計画等の各種計画等の具現化を強化し指標達成を目指す。積極的な事務事業の見直し、費用対効果、緊急性や優先度を検討。主要施策は、里山景観の維持保全、生活環境整備等を中心に繋がりや支え輝く諸施策を推進。財政見込みと見通しは、地方財政計画の同水準の確保、地方債の起債額を償還額以内に抑制、財政調整基金の取り崩し等が必要。

問 新地方公会計制度導入と活用を伺う

答 行政評価や行政運営の改善に繋げる

質問

地方公会計制度の導入は、財務書類の作成が目的ではなく、行政運営の改善に役立てることが最重要。資産や債権の管理、予算編成などに有効活用し、財政運営の強化を図ることができ。新地方公会計制度の財政マネジメントと固定資産台帳の活用を伺う。

答弁(村長)

新公会計制度に対応する事務を進めている。固定資産管理は、全体の把握が可能となり、資産管理に反映が期待できる。行政運営の結果を情報公開し、説明責任を一層果たすことが可能。行政評価や予算



保健と医療の拠点鮫川村保健センター

編成等の活用によりマネジメント機能の強化が図られ、行政運営の改善に繋げる。

問 国民健康保険データヘルス計画の課題と改善方針を伺う

答 ライフステージに応じた、包括的な生活習慣病対策の計画が重要

質問

食生活や運動習慣などの生活習慣改善の特

定保健指導、特定健診の状況。次年度以降の特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた運用等の見直し内容と予防・健康づくりの取り組みの推進方針を伺う。

答弁(村長)

県内で受診率第3位、特定保健指導率第1位である。重症化予防事業にも取り組み、特定健診の受診者全員を対象に保健師、管理栄養士の面談指導が97.3%の実績成果がある。次期計画では、現状と課題を明らかにし、他保険者との連携や子どもから高齢期までのライフステージに応じた、包括的に生活習慣病対策の計画が重要な事案である。

問 学校統廃合と学校記録の保存を伺う

答 豊かな歴史公文書の保存に対処する

質問

学校管理文書その他、学校と地域がその諸活動により生み出された、豊かな歴史公文書は、一括管理保存や情報の公開で後世に伝えるべき。統廃合による学校記録保存の現状と対策、方向性を伺う。

答弁(教育長)

学校文書は法により適正に処理されている。地域での学校文書は把握していないので、必要に応じて相談を受け、協議しながら適切に対処する。

**問** 人口施策の現況を伺う

**答** 機構改革により  
未着手の部分がある

宗田 雅之 議員



人口減少に伴い問われる空洞化

**質問**

現在、人口減少が進む中、村が一昨年作成した人口ビジョン総合戦略でこれらの施策を様々な角度から計画、立案をした訳であるが、現在も人口が減り続き大変危惧される。総合戦略における人口

減少施策の進捗状況を伺う。

**答弁(村長)**

総合戦略策定後、速やかに取り組みに着手したが、機構改革による各課の統合などがあり、未着手の部分もある。過日、担当分野の

整理をした所である。今後も重要課題と捉え、関連する諸事業に取り組んでいく。

**再質問**

現在、若者の流出が顕著でありこれらの対策は緊急の課題である。総合戦略案にある、地場産業、人材の育成について、現状を伺う。

**答弁(村長)**

一次産業の衰退が、中山間地の衰退、人口減少を招いている。農家への支援策を、今後も国に働きかけていく。また既存の企業の相談にこちらから伺える体制をつくり支援していきたいと考える。

**再質問**

薬草、薬用キノコなど新たな商品開発による振興策の考えは。

**答弁(村長)**

東日本大震災による放射能の影響により、薬草などの需要は難しいと考える。米をいかに加工、開発していくか、今後の日本農業の将来を占う大事な事業と考え、国に協力を求めて行く。

**再質問**

国土交通省が立地適正化計画、コンパクト

シティ構想の一環として空き家、空き地への、新法案をつくとあるが、これをうけて、村の空き家対策を伺う。

**答弁(村長)**

以前、空き家調査を行なったが、差し当たり利用できる家があった。今年度も何ヶ所か解体後に土地を村で買い求めたいと考える。

**問** 人材雇用による修明鮫川高校の存続策を伺う

**答** 積極的に支援策を検討していく

**質問**

企業は人なりと言われるが、現在、修明鮫川校の存続が危惧されるなか、村として人材の雇用派遣により、特色のある学校づくりの検討も必要と考えるが。

**答弁(村長)**

現在、大豆栽培の取

り組み、指導等で農家から協力を受けたたり、村アイデア料理コンテストへの参加、広報誌などにより学校活動を皆さんに知らせ、地域との繋がりを進めている。今後も積極的に支援を検討させて頂きたいと考える。





関根 英也 議員

## 災害対策

# 問 災害に対応する 急傾斜対応策を示せ

# 答 「住宅背後地災害支援事業 補助金制度」を制定する

### 質問

近年の異常気象ともされる長雨や集中的な豪雨により、村内には急傾斜を抱え、家屋裏の崩壊による危険と直面している家屋が数多くある。

家屋に面した危険傾斜地の家屋数や緊急時の対応策など危険解消対策について伺う。

### 答弁(村長)

本村は中山間特有な地形から急傾斜地に立地している家屋はかなりの数と思われる。また山を削って宅地を広げたものが大半である。

緊急時の対応であるが、「雨が降れば裏山が崩れてくる」という意識をもっていたく事が大事である。近年は大雨などの情報の精度も上がっているので、早めの避難が大切。

今後の危機解消については危険を事前に回

避する対策として、擁壁などを設置し、崩落土砂を食い止める工事をしていただく事である。

治山事業は県単独自山事業の採択要件に、人家が2戸以上への直接被害を与え得ると認められるものとして

人的に山を削ったりした場合には補助事業として採択されないことになっている。近年はこの基準が厳しく、本村の

場合これに抵触し、治山事業として採択されないケースが多くなっている。

事業に該当されない場合、自己資金で施行していただくしかない。村では工事費の2分の1以内で100万円を上限に補助金を交付する「鮫川村住宅背後地災害対策支援事業補助金交付要綱」を、平成29年11月6日に制定し、今回の補正予算に計上したところである。

### 再質問

危険傾斜地の実態調査をし、危険度合いを対象住民に伝え、大雨警報が出た場合に避難指導が必要と思われるが。

### 答弁(村長)

急傾斜地の指定はしている。該当箇所はすべて手配、指導済みである。

と思うが対応に間に合うように準備する。

### 再質問

緊急災害時に使用した資材費用は、被災者が持つのか、自治体を持つのか。

### 答弁(村長)

当然、自治体(村)で持つし、これからもそうしていく。

### 再質問

過日西山地区内でも家屋の裏山が崩れ、消防団員に出動いただき二次災害防止策をしていただいた。その際、村からの資材では足りず、村内の建材店から届けられたと聞くが、緊急備蓄倉庫には常時緊急資材はどのくらい備蓄されているのか。

### 再質問

災害支援対策補助金として300万円計上しているが、助成の仕方について説明願いたい。

### 答弁(村長)

一律でなく工事費用の2分の1を限度とし、限度額も100万円と決めている。

### 答弁(村長)

土のうは前からある。被害が広範囲にわたった場合、足りなくなる

300万円の工事費には100万円、150万円の場合には75万円となる。



家屋への崩壊が危ぶまれる急傾斜地



## 問 江竜田の滝など観光名勝地の総合的な整備策を示せ

## 答 保全活動や遊歩道の整備を計画的に行う

### 質問

村の観光名勝地である江竜田ノ滝の進入路や路肩の整備、滑落防止の安全柵の整備、案内板の整備など総合的な整備が必要であると思うが村長の考えを伺う。

### 答弁(村長)

景勝地の整備と自然環境保護保全のために、昭和52年に自然環境保全地区に指定された。その後特別地域に指定され、昭和63年から

3年間で観光案内板を設置した。今後の観光地の整備は、江竜田の滝、強滝、天狗橋につ

いては県の自然環境保全地域、緑地環境保全地域に指定されている地域である。

これらの自然環境を保全するために、保全活動や遊歩道の整備等を行い、村内外から訪れる来場者に自然環境の適正保護と次世代への継承を理解していただきたい。

### 問 青生野牧野のメガソーラーの支援は

答 地権者の総意に沿って積極的に支援する

### 質問

青生野牧野には牧野組合が所有する土地の他に、村の土地がある。これらの土地に6年前からメガソーラーの設置に向けて民間業者が取り組んできたが、現在どのようになっているのか経過について伺う。

### 答弁(村長)

メガソーラー事業実施の基本条件として地権者である組合員の同意のもと、申請要件として「農地法等の整備に對し要件を満たしている」というのが前提である。

組合員と事業所の中で把握し、認識はしている。村としても皆さんの総意に沿って協力をして行きたいと考える。

### 再質問

村では少子高齢化も進み、田畑が荒廃し税収や地方税も減り、村も窮地に立たされている。これらの対策の考えは。

### 答弁(村長)

メガソーラーは福島県も積極的に取り入れている事業でもある。皆さんで難しい要件を解決できるのではないかとと思う。

統一した場合は相談いただきたい。積極的に支援する。

### 再質問

青生野の200haに上る放牧地の有効活用の打開策が必要と思われるが。

### 答弁(村長)

昭和50年に開発した



総合的な環境整備が待たれる観光名勝地



有効活用が期待される青生野牧野

畜産の基地として利用してもらいたいのは本音である。このようなフリンエネルギーに取り組みか、畜産基地として思い切った除染も必要かという想いもある。





関根 政雄 議員

## 学校教育

### 問 スクールバスの安全運行計画を問う

### 答 バス運営委員会で審議し、運転手の意見を聞き、安全運行を行う

#### 質問

来春から生徒・児童のスクールバス送迎計画が変更となるが、送迎時間の調整や問題点、ドライバーや保護者からの要望はないか。さらに緊急時の対応や保護者との連絡手段など、安全走行の計画を伺う。

#### 答弁(教育長)

運行については毎年1月に運営委員を行政区長、保護者、学校の先生に委嘱し、委員会にて審議している。また運転手の方々からも問題点は提示していただき運行を決定している。

緊急の対応は保護者から学校、学校から教育委員会、教育課から委託先に連絡することとし、災害発生時の対応として、防災行政無線機を設置している。

#### 再質問

以前の一般質問で、ドライバーの待機所、霜除け、水道の必要性を提案したが設置されていない。さらにチェーンや工具を納入する倉庫も必要であるが。

#### 答弁(教育長)

そのような話はドライバーからは上がっていない。スクールバスに必要なものと、あつたほうがいいものを整理する。

#### 再質問

ドライバーから意見が届いていないのであれば、議会を通して意見を届ける。過去の答弁で財政措置が難しいとしたが、財政措置の見通しはついたのか。

#### 答弁(教育長)

本当に必要なのか、管理の面で考えるところもあるが検討する。



安全走行が求められるスクールバス運行

### 問 村道の環境整備と高齢者世帯の支援をすべき

### 答 区長会で周知するが、自助努力も願う

#### 質問

村道や集落の生活道の整備を求める要望が高まっている。次の各点について推進策を伺う。

①村道筋の支障木の計画的な伐採を推進すべき。

②環境公社を立ち上げて支障木のエネルギー化と雇用創出を図るべき。

③コンクリート等の原材料支給に加えて、下地の砂利や掘削、運搬機械の支給も拡大し、公道整備の推進を図るべき。

④高齢者世帯の生活道の整備の実施要綱を作成し区長を通じて支援策を講じるべき。

#### 答弁(村長)

①計画的な伐採は考えていないが、冬がくる前に道路沿線の伐採整備を行う。私有地からの支障木は所有者が管理すべきである。危険性や緊急性の低い場合には村は

積極的に伐採はしない。

②村シルバーセンターの効力が薄れた時に環境公社の設立が必要となる。設立は平成36年を目途とする。

③原材料支給は要望があり、生コンが20立方メートルから30立方メートルにした。アスファルト舗装のような工事を助成したのでは本旨に沿わなくなる。

④私道や森林管理所の道路は村の所管となっていないが、ケースによっては整備している。また実施要綱をつくるより、臨機応変で対応する。

#### 再質問

高齢者世帯の生活道の整備について、区長会等で示しているのか。

#### 答弁(村長)

高齢者支援は次の区長会では周知する。自助努力にも取り組んでいただきたい。



住宅施策

問

借地である前田住宅地の  
存続と住宅政策を示せ

答

平成34年度に閉鎖を考えている

質問

赤坂中野字前田にある公営住宅、前田団地は平成5年度に賃貸住宅として建設以来、村民の健康で文化的な住民生活の維持及び福祉向上が図られてきた。

しかしこの住宅は築25年になろうとしている。建物の老朽化により、入居者及び障害者を対象とした住宅事情を鑑み、考慮する時期に達していると思うが、今後の住宅政策をお示し願いたい。

答弁(村長)

前田団地は平成6年3月から9年まで6棟12戸建築され、現在まで住宅に困窮する住民の生活を支えてきた。

この団地は借地であり、平成34年まで30年間の契約が切れる事となる。この時期をもって土地を返却するのが最善と考える。

再質問

土地を更地にする必要があり、平成33年度中に入居中の方、入居希望者に閉鎖の可能性がある事を周知していく。また引越先の調整がつかない場合、必要最小限の借地で契約するなどの対応も考えている。

再質問

30年間更新なしの契約条項の中で、3年後の入居者の退去と入居希望者を断るとの考えであるが、地権者との話し合いはされたのか。また過去に公共施設の借地に対し、議会側として地代の見直し交渉をすべしと求めてきたがされたのか。

答弁(村長)

30年契約であり、借地代とか更新の交渉はしてこなかった。

再質問

結論に達した答弁と思われる。30年過ぎたなら解消したい旨の話は1回も今までされなかったということか。

答弁(村長)

その通りである。

再質問

現在、前田団地の他

再質問



公営住宅として建設が始まった水口地区

に村営住宅として、渡瀬、広畑、伏木田、見渡、水口、富田があるが、前田団地の入居状況と退去先の対応策は。

答弁(村長)

12戸の内、2戸が空き家である。退去先の対応は今年西山に2棟3戸。富田にも来年計画している住宅で対応する。また旧泰斗跡地の宅地の販売活動もし

再質問

今後、前田団地の12戸の改築工事は一切着手しないということか。

答弁(村長)

今までは退去後に修繕工事をしてきたが、今後はできるだけ別の場所をお世話したい。



# 村民の広場

## 私の夢シリーズ⑪

# がんばれ!! 村の担い手

我妻 佑哉くん (鮫川中3年生)



(大字富田前沼)

我妻利美さん、久美子さんの次男  
鮫川中バレーボール部主将として  
活躍。現在は受験勉強中。

### 災害に強い町をつくりたい!

僕の将来の夢は、災害に強い町をつくることです。東日本大震災や熊本地震によって日本は大きな被害を受けました。

日本だけでなく東南アジアやアフリカなどでは自然災害によって被害を負う人たちがたくさんいます。災害によって被害を受けた場合でもその被害を最小限にし、復興に素早く取り組むことができる町をつくれるようになりたいと思っています。

そのために今は防災、減災について学ぶことのできる学校に進学できるような受験勉強をしていきます。まだ防災や減災などの知識はあまりありませんが、希望する学校に進学し、自分の将来の夢に1歩でも近づけるようにしたいです。

### 12月定例議会傍聴者アンケートより

### 議会傍聴者からのひと言

#### ◆議員の発言内容は良く分かりましたか

- ・ 村の現状に危惧される課題で村民の関心事である。今後どうなるのか。
- ・ 村議会、村当局の指導をして頂きたい。何故かというところ(中山間事業に関して)村内外各地が参加できるように(各地域を見ると草刈り等を綺麗に管理しているのに参加したくても出来ない地域が見受けられる。指導を宜しく願いたい。

- ・ 一般質問通告一覧表を読みながら説明を受けたのでわかりやすかった。
- ・ 来年度の予算や要望を質問して欲しかった。

#### ◆答弁者(村長・教育長)の発言は分かりましたか

- ・ 答弁は細ごまと答弁されていたので分かり易かった。
- ・ 村政を担当する者としての意気込みがあった。
- ・ 有言実行で願いたい。

#### ◆その他の感想をお聞かせください。

- ・ 今回初めての傍聴でした。素晴らしい機会でした。また傍聴したいと思います。身近な問題を大切にしてください。地域に密着した議員活動をよろしく願います。
- ・ 各議員は村内の現状を確認し、方向性に強い意識を持ち、村民との交わりと語りの中で一同に関心事を受け対処していく方向性が必要。
- ・ 議会だよりのみならず、地域に於いての報告、地区民との傾聴等の機会があったらいいのではないかと。
- ・ 日頃の議員活動をしっかりと村の発展に努力して欲しい。

### 議会傍聴をお願いします

3月定例議会は3月上旬の予定です。

# 美容の原点は鮫川の自然にあり

## ふるさと鮫川への想い シリーズ②⑦



小枝 きぬいさん(旧姓矢吹)  
(赤坂中野官沢出身)  
兵庫県神戸市在住

### ◆プロフィール

- 【生年月日】  
・昭和33年1月1日
- 【学 校】  
・県立高等学校卒業
- 【仕 事】  
・花嫁着付け講師  
美容師免許取得  
華道池坊准教授2級
- 【趣 味】  
・絵画・映画、  
音楽鑑賞・ヨガ

鮫川村に生まれ、小さい体には大きなランドセルを背負い、登校した鮫川小学校。今でも鮮明に覚えているのが、お友達と歩いて通った土埃の中。四季折々の景色を見ながら、友達と楽しくお話を道草をしながら登校した経験が今に生かされていると思います。

気持ちでお手伝いをしたと思えますが、今となってみると、子どもなりの責任感が自ずと生まれたとおもいます。感受性豊かな小・中学生と多感な高校時代を、自然豊かな鮫川村で育ったことがかけがえのない私の宝です。現在、神戸市に住んでおります。阪神淡路大震災も経験しました。高速道路が家の方に向かってサーキット場のように倒れました。家の

周囲には全壊・倒壊。時間が経つにつれて負傷者や亡くなられた方、既に亡くなる方が避難所に搬送されてきました。避難所が家の近くであったので、叫び声や泣き声が聞こえて壮絶でした。

そんな中、全国や海外から暖かい物資のご支援と多くのボランティアさんのご活躍で日ごとに復興して行く景色を見た時に、改めて一人ではなく、多くの皆様の支えがあったからだと感じの言葉で一杯になりました。

私の家族は子ども二人の三人家族です。それぞれの職に就き、公認会計士と医師として働いております。大震災を皆様方の温かいご支援と親身になって頂き、親子三人心が折れそうな時は苦難を乗り越えることが出来ました。

私は現在、ブライダルスタイリスト(美容師)として働いています。一日だけの人生最高の気持ちになって頂くお仕事です。婚礼の着付け・メイクヘア・男性の紋付け・袴及び一般着付けが主な仕事です。

「ふるさと鮫川へのシリーズ」に原稿を寄せる機会をあたえていただきました鮫川村の関係者の皆様、この度はありがとうございました。最後に私を育てて下さいました多くの同級生・諸先輩方。今は亡き両親、兄弟。

そして鮫川村の大地に感謝の気持ちで一杯です。故郷はいつでも心の支えです。ありがとうございます。



美容師として活躍される小枝さん

議会だよりの編集に今年も頑張ります



議会だよりへのご感想やご意見もお寄せ下さい。

### 編集後記

昨年の全国町村議会だよりコンクールにおいて「鮫川村みんなの議会だより」が入賞することができました。これは子ども達を含めた村民の皆様の紙面参加が評価されたものと思われまふ。しかし今だに多くの村民より「行政や議会は難しく分かりにくい」との声が寄せられています。「みんなの議会」とは何か・に立ち返り、本年も「分かり易く村民に寄り添った紙面づくり」に取り組みますのでご指導をお願いします。  
(広報編集委員)

【議会事務局】  
0247(49)3115まで